年間授業計画 新様式例

青梅総合 高等学校 令和8年度（２（2学年用）　教科 芸術 科目 工芸Ⅰ

教 科： 教科 芸術　　科 目： 工芸　　単位数： 2 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組～ 3 組

教科担当者：川澄 裕子

使用教科書：（ 工芸Ⅰ １１６-日文・工Ⅰ－７０１ ）

教科 教科 芸術 の目標：

【知識及び技能】芸術の各教科の特質について理解すると共に、意図した表現の技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫して、芸術のよさや美しさを深く味わう。

【学びに向かう力、人間性等】芸術を愛好する心情を育てると共に、心豊かな生活や社会を創造する。

科目 工芸Ⅰ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
工芸の伝統と文化に幅広く関わる技能を身に付ける。	工芸の素材の特性、使用方法を知り、自分の意図した表現を制作する。	各題材、学習のねらいを明確にして、主体的に取り組むよう工夫する。また、工芸を愛好する感性を育てる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現 身	表現 社	鑑賞	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	単元1 オリエンテーション 木工 （ペーパーナイフ）の制作 【知識及び技能】 木の素材の特性を理解して制作する。 【思考・判断・表現力等】 素材の特性を深く理解した上で美しい 形を発見し表現をする。 【学びに向かう力、人間性等】 創意工夫して生徒が工芸を愛好する心情や豊かな感性を育てる。	・指導事項 下絵を描かせ自分らしい美しい形を発見する。 ・教材 チーク材、糸のこ盤、切り出し刀、紙ヤスリ、万力、蜜ロウ等を用い制作をする。	○	○	○	・主体的に意欲をもって授業に参加しているか。 ・出欠はどうか。	○	○	○	26
2学期	単元２ 焼き物（皿、マグカップなどの制作） 【知識及び技能】 土の特性を理解させる。陶器と磁器の違いを学ぶ。 【思考・判断・表現力等】 粘土の錬り方、手びねり、板作りで制作する。	。教科 信楽土、ロクロ、どべ、ヘラ、焼成器等を使用する。	○	○	○	・主体的に意欲をもって授業に参加しているか。 ・出欠はどうか。	○	○	○	20
	単元３ 「ビン」のデッサン 【知識及び技能】 美術、工芸の基礎である基本的な形の捉え方を学習する。	・教材 鉛筆、画用紙、ビン、練りゴム、カッターナイフ等。	○	×		・主体的に意欲をもって授業に参加しているか。 ・出欠はどうか。	○		○	6
	単元4 「色彩の学習」 【知識及び技能】 美術、工芸の基礎である基本的な色彩を学習する。	・教材 ポスターカラー、筆、画用紙、パレット等。	○			・主体的に意欲をもって授業に参加しているか。 ・出欠はどうか。	○		○	6
3学期	単元５ 革工芸 「コースター」の制作 【知識及び技能】 革の特性を理解して制作をする。 【思考・判断・表現力等】 図案をよく考え、美しく仕上げる。	・指導事項 ボール紙を使用して凹凸をつけ、プレス機にかける。 ・教材 革、染料、ボール紙、アクリル絵の具、筆、絵皿、パレット等。	○	○		・主体的に意欲をもって授業に参加しているか。 ・出欠はどうか。	○	○	○	20
										合計 78